

特定非営利活動法人「市村自然塾 九州」  
令和7年度 理事会・総会

1. 日 時 令和8年3月6日（金曜日）  
理事会 午前10時  
令和8年3月6日（金曜日）  
総 会 午前11時
2. 場 所 「市村自然塾 九州」塾舎  
佐賀県鳥栖市河内町字谷口 2212-2
3. 審議事項
- (1) 第1号議案 令和7年度 事業報告および決算報告の件  
① 令和7年度 事業報告書  
② 令和7年度 活動計算書
- (2) 第2号議案 令和8年度 事業計画および活動予算の件  
① 令和8年度 事業計画書（案）  
② 令和8年度 活動予算書（案）
- (3) 第3号議案 理事および監事選任の件



市村自然塾 九州

## 令和7年度 事業報告書

### 開塾までの経緯

令和7年度の子供たちの健全育成活動(以下「自然塾活動」)は、入塾式を3月9日男女合同で開式し、3月16日(男子)・23日(女子)からの第1ステージに向けての準備を開始しました。

1. 自然塾活動の拠点となる「塾舎」は、当法人を設立した2002年9月に完成し支援先であるコカ・コーラボトラーズジャパン株式会社様から無償でお借りしております。また、2010/2017/2020年に改修工事を行い、昨年11月には塾舎の空調設備を全て交換し、併せて火災受信機と和室の畳入れ替えを実施して頂きました。  
なお、塾舎のある用地は2002年9月から鳥栖市様より無償でお借りしております。
2. 自然塾活動の基盤となる「農地」については、地域の方から借受けした農地3ヶ所(約3,200㎡)を水田および畑にし、米や野菜の農作物栽培に活用しております。
3. 自然塾活動や運営のための職員は、常勤4名(うち企業からの派遣1名)、非常勤2名を確保し、活動カリキュラムの内容や育成する野菜の検討、農地の整備・耕作等を行いました。
4. 令和7年度の塾生募集については、令和6年9月より鳥栖市報等で取り上げていただくと共に、福岡、佐賀県内の教育委員会を通じ募集を行いました。(1チーム6名 3チームの18名)  
・入塾生 男子18名(小学生17名、中学生1名) (福岡県6名、佐賀県12名)  
女子18名(小学生15名、中学生3名) (福岡県12名、佐賀県6名)
5. 運営資金については、法人・個人の正会員・賛助会員のご協力による会費5,632千円および株式会社リコー様などからの 寄付金 22,793千円に、雑収入 76千円を合わせた合計 28,501千円を運営資金に充当いたしました。

(1)会費	①正会員(法人・個人)	5,358,000 円
	②賛助会員(法人・個人)	274,000 円
	計	<u>5,632,000 円</u>

(2)寄付金	①株式会社リコー 様	10,000,000 円
	②コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 様	4,500,000 円
	③三愛オブリ株式会社 様	3,000,000 円
	④公益財団法人 市村清新技術財団 様	2,500,000 円
	⑤ふるさと納税	2,017,641 円
	⑥岩井機械工業株式会社 様	300,000 円
	⑦「やまもの会」(卒塾生および保護者) 様	85,027 円
	⑧九星飲料工業株式会社 様	100,000 円
	⑨和歌山ノーキョー食品工業株式会社 様	100,000 円
	⑩その他	190,000 円
	計	<u>22,792,668 円</u>

(3)雑収入	計	<u>76,127 円</u>
--------	---	-----------------

# 自然塾活動の概況

## 1. 全体概要

入塾式は昨年度に引き続き、従来の男女合同で開催しました。

活動内容は、宿泊を全ステージの半分以上の8回とし、内容を今まで以上に充実する計画で進めました。インフルエンザ等の新たな感染症が流行するなどの懸念材料がありましたが、万全な対策を講じた結果、塾内起因の感染者の発生はありませんでした。

また、前年同様に宿泊ステージでの取り組みとして塾舎内の清掃や寝具の取り扱い等の最低限のルールを守ることの大切さやチーム内の仲間との接し方を学んでもらい、チームワークの強化や、兄弟たちの年下に対する指導も適切になりました。加えて、昨今の猛暑の影響により、テントによる宿泊活動を従来の9月から5月に移行させ、熱中症の対策を行いました。

これにより、昨年に増して本来の活動内容に近いプログラムが実施できたことは、塾の運営面では今後に向けての明るい材料となりました。

## 2. 農業体験活動

農業体験活動では、塾生がチームメンバーと協力しながら約20種類の農作物を自らの手で育てる計画で進めました。しかし、夏場が今までにない猛暑となったことで野菜の生育にも大きな影響を及ぼし、収穫量は計画どおりとは言えない状況でした。そのような状況下でも「困難なことに立ち向かってやり通すこと」「生き物への興味・関心を持つこと」を体得し、季節の変化に応じた様々な農作業を体験してもらいました。

## 3. 自然体験活動

自然体験活動では、「ヤマメの放流」、田植え前の「泥んこ運動会」、大木川での「リバートレッキング」、花や風景など美しいものを見て感動できる感性を育てる「九千部山登山」を実施しました。ただ、女子「地域探索」5月24日、男子「早朝日の出拝観」9月14日は、いずれも大雨の影響で中止としました。

## 4. 共同生活

身の周りの整理整頓や共同場所の清掃、農作業道具の準備と片付け、羽釜による直火炊きの炊飯といった日常生活で経験できないことを数多く体験してもらいました。

また、河内地区の自然に触れる「地域探索」萬歳寺での「坐禅会」、「大山祇神社ライトアップ」時の合唱では、塾生の歌声を地域の人たちに聞いてもらい、地域の活性化に寄与できたと感じました。

塾生には、割り当てられた仕事を何度も失敗を繰り返しながらできるようになるまでやり続け、仲間と協力して成し遂げて得られる達成感を体験してもらう良い機会になったと思います。

## 5. 安全対策

安全対策については、自然塾がある河内地区は市内の中心地から10kmほど離れており、救急車の到着には最短でも15分ほどかかることから、活動がスタートする前の2月にスタッフ全員が救急救命講習を受講し、AEDを使用した救急救命が施せるスキルを習得しました。

また、鳥栖市にある医療法人清明会「やよいが丘鹿毛病院」および医療法人如水会「今村病院」から看護師を派遣してもらい、ステージ中の塾生の体調管理や応急処置を行い、緊急時の対応も病院と連携して行いました。

## 6. 保護者との連携

保護者との連携については、塾生手帳を用いた保護者とのコミュニケーションを継続して実施するとともに、ホームページを利用して、ステージ毎の計画と活動実績を毎回掲載しました。

## 7. SNS (Instagram) の運用開始

自然塾の情報発信や会員を呼び込む一つのツールとして、昨年10月より運用を開始いたしました。

塾生募集では、投稿した記事から申込者があるなど、新たな媒体を使用して情報の周知を図ることができました。今後も塾での活動の様子や会員入会、ふるさと納税などの情報発信に活用していきます。

令和7年度の事業活動は以下のとおりです。

【事業の実施概況】

実施計画	日程	実施内容																																										
(1) 塾生の構成 (参加者の内訳)		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">(1) 学年</th> <th colspan="3">(2) 地域</th> </tr> <tr> <th>学 年</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>学 年</th> <th>男子</th> <th>女子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学生</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>福岡県</td> <td>6</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>小学6年</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>佐賀県</td> <td>12</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>小学5年</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>計</td> <td>18</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>小学4年</td> <td>6</td> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>18</td> <td>18</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	(1) 学年			(2) 地域			学 年	男子	女子	学 年	男子	女子	中学生	1	3	福岡県	6	12	小学6年	3	4	佐賀県	12	6	小学5年	8	5	計	18	18	小学4年	6	6				計	18	18			
(1) 学年			(2) 地域																																									
学 年	男子	女子	学 年	男子	女子																																							
中学生	1	3	福岡県	6	12																																							
小学6年	3	4	佐賀県	12	6																																							
小学5年	8	5	計	18	18																																							
小学4年	6	6																																										
計	18	18																																										
(2) 農業体験活動	<p>男子 3月16日～ 10月12日</p> <p>女子 3月23日～ 10月19日</p>	<p>主な農業体験活動</p> <p>① 米づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・種籾の塩水選</li> <li>・温湯消毒</li> <li>・播種</li> <li>・代かき</li> <li>・田植え</li> <li>・稲刈り</li> <li>・結束</li> <li>・掛け干し</li> <li>・脱穀</li> <li>・唐箕選</li> <li>・千歯こき</li> <li>・わら縛り</li> </ul> <p>② チーム農園での野菜づくり (農作業の基礎を学ぶ・チームワークを活かす)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前作、後作の作付け計画</li> <li>・作付けマップの作製</li> <li>・畑の土づくり</li> <li>・畝上げ</li> <li>・播種</li> <li>・定植</li> <li>・芽欠き、間引き</li> <li>・土寄せ</li> <li>・追肥</li> <li>・除草、水やり</li> <li>・支柱立て、誘引</li> <li>・鳥獣対策</li> <li>・収穫</li> </ul> <p>(さつま芋、トマト、きゅうり、なす、かぼちゃ、ジャガイモ、里芋、おくら 等) 各チーム 約20種類を栽培</p>																																										
(3) 自然体験活動	<p>男子 3月16日～ 10月12日</p> <p>女子 3月23日～ 10月19日</p>	<p>主な活動内容</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>3月</td> <td>チーム農園計画、椎茸の菌打ち(男子)</td> </tr> <tr> <td>4月</td> <td>椎茸の菌打ち(女子)、ヤマメの放流(女子)</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>地域探索、ウルチ米田植え(女子)</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>モチ米田植え(男子)、泥んこ運動会、坐禅会 清掃ボランティア(男子)</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>リポートレッキング(男子)、清掃ボランティア(女子)</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>リポートレッキング(女子)、塾野菜料理会</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>親子チーム農園、九千部山登山(男子)、稲刈り 日の出拝観</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>九千部山登山(女子)、夜の集い、脱穀、餅つき</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>大山祇神社ライトアップ点灯式合唱</td> </tr> </tbody> </table>	3月	チーム農園計画、椎茸の菌打ち(男子)	4月	椎茸の菌打ち(女子)、ヤマメの放流(女子)	5月	地域探索、ウルチ米田植え(女子)	6月	モチ米田植え(男子)、泥んこ運動会、坐禅会 清掃ボランティア(男子)	7月	リポートレッキング(男子)、清掃ボランティア(女子)	8月	リポートレッキング(女子)、塾野菜料理会	9月	親子チーム農園、九千部山登山(男子)、稲刈り 日の出拝観	10月	九千部山登山(女子)、夜の集い、脱穀、餅つき	11月	大山祇神社ライトアップ点灯式合唱																								
3月	チーム農園計画、椎茸の菌打ち(男子)																																											
4月	椎茸の菌打ち(女子)、ヤマメの放流(女子)																																											
5月	地域探索、ウルチ米田植え(女子)																																											
6月	モチ米田植え(男子)、泥んこ運動会、坐禅会 清掃ボランティア(男子)																																											
7月	リポートレッキング(男子)、清掃ボランティア(女子)																																											
8月	リポートレッキング(女子)、塾野菜料理会																																											
9月	親子チーム農園、九千部山登山(男子)、稲刈り 日の出拝観																																											
10月	九千部山登山(女子)、夜の集い、脱穀、餅つき																																											
11月	大山祇神社ライトアップ点灯式合唱																																											

<p>(4) 宿泊を伴う共同生活 (1泊2日)</p>	<p>男子 4月26～27日 5月17～18日 5月31～6月1日 6月28～29日 8月16～17日 9月13～14日 9月27～28日 10月11～12日 女子 5月10～11日 5月24～25日 6月7～8日 7月5～6日 8月23～24日 9月20～21日 10月4～5日 10月18～19日</p>	<p>「自主・自立・自律」を身につけさせる</p> <p>① 共同生活の根幹となる基本作業をできるまで取り込む ・挨拶、返事 ・整理整頓 ・あと片付け ・食事のとり方 ・箸の使い方 ・姿勢 ・床の拭き掃除 ・トイレ掃除 ・入浴の仕方 ・布団の準備、片付け 等</p> <p>② 昔ながらの炊飯体験 ・米とぎ ・釜飯炊き ・羽釜洗い 等</p> <p>③ 助け合うこと、協力することを体験 ・チーム活動 ・歌の合唱 ・キャンドルサービス ・九千部登山 ・リバートレッキング 等</p>																																												
<p>(5) その他の事業</p> <p>① 同窓会卒塾生のボランティア参加</p> <p>② 主要支援企業による活動援助</p> <p>③ 鳥栖市との共同事業</p>	<p>男子 3月16日～ 10月12日 女子 3月23日～ 10月19日  7月23～24日  11月22日</p>	<p>① 卒塾生のボランティア参加 ・7～14期生 77名が活動に参加(男子32名、女子45名)</p> <p>② 支援企業による活動援助 ・リコージャパン株式会社・社員27名 コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社・社員9名 佐賀ガス株式会社・社員3名 三愛オブリ株式会社・社員2名、 三愛オブリガス三神株式会社・社員3名 泥んこ運動会・田植え・稲刈り・脱穀・餅つきに参加</p> <p>③ 保護者ボランティア ・71名参加 各1回ずつ35名参加</p> <p>④ 「鳥栖市少年少女自然体験」事業 ・鳥栖市教育委員会主催の小学生(18名)を対象にした自然体験事業に共催者として、プログラム検討、活動補助を行う。</p> <p>⑤ 「English Day Camp in Tosu」事業 ・鳥栖市教育委員会主催の中学生(13名)を対象にした英語学習事業に共催者として、活動補助を行う。</p>																																												
<p>(6) 会員の状況</p>	<p>令和7年 12月末現在</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">法人</th> <th colspan="2">前年比</th> <th colspan="2">個人</th> <th colspan="2">前年比</th> </tr> <tr> <th>社数</th> <th>口数</th> <th>社数</th> <th>口数</th> <th>人数</th> <th>口数</th> <th>人数</th> <th>口数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正会員</td> <td>56</td> <td>176</td> <td>+13</td> <td>+12</td> <td>21</td> <td>26</td> <td>+3</td> <td>▲1</td> </tr> <tr> <td>賛助会員</td> <td>17</td> <td>32</td> <td>+12</td> <td>+23</td> <td>33</td> <td>76</td> <td>▲5</td> <td>▲20</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>73</td> <td>208</td> <td>+25</td> <td>+35</td> <td>54</td> <td>102</td> <td>▲2</td> <td>▲21</td> </tr> </tbody> </table>		法人		前年比		個人		前年比		社数	口数	社数	口数	人数	口数	人数	口数	正会員	56	176	+13	+12	21	26	+3	▲1	賛助会員	17	32	+12	+23	33	76	▲5	▲20	計	73	208	+25	+35	54	102	▲2	▲21
	法人			前年比		個人		前年比																																						
	社数	口数	社数	口数	人数	口数	人数	口数																																						
正会員	56	176	+13	+12	21	26	+3	▲1																																						
賛助会員	17	32	+12	+23	33	76	▲5	▲20																																						
計	73	208	+25	+35	54	102	▲2	▲21																																						

〈第1号議案〉令和7年度 事業報告および決算報告の件 ②

令和7年度 活動計算書

令和7年1月1日から令和7年12月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員		
法人会員	5,280,000	
個人会員	78,000	
賛助会員		
法人会員	160,000	
個人会員	114,000	
		5,632,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金		22,792,668
3. その他収益		
受取利息		34,929
雑収入		41,198
経常収益計		28,500,795
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	11,662,529	
賃金	1,236,262	
法定福利費	1,211,396	
人件費計	14,110,187	
(2) その他経費		
教材費	282,899	
燃料費	180,357	
図書資料費	37,231	
保健衛生費	160,525	
食材費	830,688	
旅費交通費	172,600	
通信運搬費	639,281	
消耗品費	428,240	
水道光熱費	1,190,218	
賃借料	1,467,285	
印刷製本費	823,624	
修繕費	77,330	
保険料	26,973	
教育研修費	25,000	
その他経費計	6,342,251	
事業費計		20,452,438
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	3,504,087	
法定福利費	159,656	
人件費計	3,663,743	
(2) その他経費		
旅費交通費	95,380	
福利厚生費	1,627,788	
通信運搬費	63,543	
消耗品費	43,927	
水道光熱費	297,553	
賃借料	414,810	
会議費	27,840	
渉外費	56,227	
修繕費	0	
支払手数料	158,559	
租税公課	931	
保守費	1,584,383	
雑費	230,858	
その他経費計	4,601,799	
管理費計		8,265,542
経常費用計		28,717,980
当期正味財産増減額		△ 217,185
前期繰越正味財産額		20,914,068
次期繰越正味財産額		20,696,883

# 貸借対照表

令和7年12月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	50,655		
普通預金	22,598,016		
未収金	30,000		
仮払金	168,880		
流動資産合計		22,847,551	
2. 固定資産			
器具備品	1		
有形固定資産計	1		
固定資産合計		1	
資産合計			22,847,552
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,789,296		
預り金	361,373		
流動負債合計		2,150,669	
負債合計			2,150,669
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		20,914,068	
当期正味財産増減額		△ 217,185	
正味財産合計			20,696,883
負債及び正味財産合計			22,847,552

## 財務諸表の注記

### 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（平成22年7月20日、平成23年11月20日一部改正NPO法人会計基準協議会）を採用している。

#### （1）固定資産の減価償却の方法

有形・無形固定資産 法人税法に定める耐用年数をもとに定額法によっている。

#### （2）消費税等の会計処理

消費税等の会計処理については、税込方式を採用している。

### 2. 固定資産の増減内訳

（単位：円）

科 目	期首取得価額	取 得	減 少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
器具備品	1					1
合 計	1					1

# 財 産 目 録

令和7年12月31日現在

(単位：円)

資産の部			
流動資産			
現金	50,655		
普通預金			
西日本シティ銀行	13,387,989		
福岡銀行	7,351,062		
佐賀銀行	1,858,965		
未収金	30,000		
仮払金	168,880		
流動資産合計		22,847,551	
固定資産			
器具備品	1		
固定資産合計		1	
資産の部合計			22,847,552
負債の部			
流動負債			
未払金	1,789,296		
預り金			
社会保険	321,334		
住民税	18,300		
その他	21,739		
流動負債合計		2,150,669	
負債の部合計			2,150,669
正味財産			20,696,883

# 監 査 報 告

令和7年度の決算監査を実施しましたので、以下の通り報告致します。

監査の結果、事業報告および会計に関する処理は適正であることを認めます。

令和8年 2月 13日

監 事 野 口 貴 司



## 令和8年度 事業計画書(案)

### 1. 事業計画策定にあたって

令和8年度の「市村自然塾 九州」の活動は、本来の基本理念および指導方針に基づいた内容を具体的に実行していく計画です。

ここ数年は大口支援先の大幅な減額や諸物価の高騰により、塾設立時よりの連泊活動(2泊3日)を実施するための資金を確保するのは難しい状況にありましたが、理事企業より寄付金増額の応援をいただいたことと、昨年の下期より積極的な法人会員の拡大策により、本年度より収支のバランスは大幅な改善が図れるものと思われまます。

そのなかで活動内容を再度見直し、子供たちの健全育成をより高めると共にまずは、全ステージ宿泊に向けた取り組みを開始します。

### 2. 事業計画策定方針

- ・日帰り活動と宿泊活動を基本とし、全15ステージ中、半数以上の8ステージを1泊2日の宿泊とします。
- ・一昨年に復活させた「九千部山登山」「早朝日の出拝観」「姿勢の話」等の自然体験活動は継続して実施します。

また、新たに「森林保全活動」「地域清掃」等のボランティア活動を復活させ、塾生に奉仕活動の大切さを学ばせまます。

- ・自然塾の安定的な継続を図るため、以下の施策を行います。

#### ① 「一般者向け塾活動見学会」の開催 (5~6月・9~10月で計画)

塾活動を広く認知してもらうことを目的にステージ期間中に見学会の開催を予定しております。昨今の塾生応募者数減少の歯止め策として、塾舎および畑、そして実際の活動を見ていただき、塾生募集拡大につなげまます。また、SNSとの連動も併せて検討する予定です。

- ・各企業、団体、学校等教育機関での講演会、集会等で塾生募集の呼びかけを強化しまます。
- ・卒塾生、保護者へも同様に塾生募集、入会依頼を行います。

#### ② 「ふるさと納税」の拡大

- ・会員の拡大とともに卒塾生、保護者、各企業、団体へ呼びかけ、更に集会や講演会等でも依頼

#### ③ 経費の圧縮 等を行う。

#### ④ 感染症(インフルエンザ等)対策を再度見直し、全ステージで感染者ゼロを目指しまます。

また、「感染対策マニュアル」の内容の見直しを行い、より一層の対応強化を図りまます。

### 3. ステージ運営に関する活動

#### (1) 事業内容

- |            |   |
|------------|---|
| ① 農業体験活動   | 子供たち自らの手で行う農作物の栽培/チーム農園・共同農園・水田                   |
| ② 自然体験活動   | リバートレッキング、地域探索、坐禅会、日の出拝観、九千部山登山 等                 |
| ③ 共同生活     | 挨拶、清掃、整理整頓、食事マナー、釜めし炊き、歌の合唱、姿勢の話 等                |
| ④ ボランティア活動 | ヤマメの放流、塾舎周辺の清掃活動、森林保全活動への参加                       |
| ⑤ 宿泊活動     | 全ステージ宿泊に向けた試みとして、今年度は宿泊を男女共2ステージ増やし10ステージの宿泊を実施予定 |
| ⑥ 親子大会     | 宿泊を兼ねた保護者との活動や意見交換会を再開(2019年以來)                   |

## (2) 対象者

一般公募した小学4年生から中学2年生までの児童生徒 男子18名・女子16名 計34名(2/18現在)

(1) 学年構成			(2) 地域構成		
学 年	男子	女子	学 年	男子	女子
中学生	2	1	福岡県	5	8
小学6年	1	3	佐賀県	13	8
小学5年	9	9	計	18	16
小学4年	6	3			
計	18	16			

## (3) 活動の期間

- |                   |                    |         |
|-------------------|--------------------|---------|
| ① 入塾式             | 3月8日(日)            | 男子、女子合同 |
| ② 男子活動期間          | 3月22日(日)～10月18日(日) |         |
| ③ 女子活動期間          | 3月29日(日)～10月25日(日) |         |
| ④ 卒塾式             | 11月1日(日)           | 男子、女子合同 |
| ⑤ 大山祇神社ライトアップ時の合唱 | 11月7日(土)           | 男子、女子合同 |
| ⑥ 後作野菜の収穫・受取り     | 11月29日(日)          | 男子、女子合同 |

## (4) 従事者の状況

常勤 7名 企業から出向者(1名) 契約社員(4名) アルバイト(2名)  
非常勤 5名 調理スタッフ(4名・交代制) 看護師(1名)

## (5) その他の活動

- ① 鳥栖市「少年少女自然体験事業」の開催(第21回)
  - ・鳥栖市教育委員会が主催する事業の運営協力を行います。
  - ・リバートレッキング等の自然体験活動や共同生活を通じて、子供たちの自発性、協調性を高めることを目的とした鳥栖市教育委員会(生涯学習課)の活動を支援します。
  - ・鳥栖市内の小学生を対象に1泊2日の自然体験活動
  - ・開催日:夏休み期間中の7月22(火)～23(水)日を予定
- ② 鳥栖市「English Camp」の開催(第2回)
  - ・鳥栖市教育委員会が主催する事業の運営協力を行います。
  - ・ハイキングや野外炊飯を通して海外留学生と市内中学生が交流し、語学向上とグローバルな人材育成を目的とした鳥栖市教育委員会(学校教育課)の活動を支援します。
  - ・鳥栖市内の中学生を対象に日帰りを実施
  - ・開催日:11月21日(土)を予定
- ③ 「やまもの会」総会の開催(第20回)
  - ・卒塾生の親睦を深め、交流を通して互いに学びあうことを目的とします。
  - ・開催日:8月11日(月・祝)、昨年に引き続き男女合同開催。

## 4. その他

### (1) 安定的な収入の確保

安定的かつ効果的な事業運営が続けられるよう以下の活動に注力し財源の確保を図ります。

- ・企業/団体が集まる場を利用して広く自然塾活動の内容や意義を周知し、法人会員の拡大を図る。

- ・「ふるさと納税」による財源確保と維持拡大のためにパンフレット配布と過去の寄付者に対し案内を送付する。
  - ・個人会員拡大に関しては卒塾生、保護者、塾関係者に対し入会を積極的に呼びかけると共に会費納入の簡素化を図るために電子決済(PayPay)の導入予定。
  - ・今年度より本格導入の支援自販機を活用した支援金確保と自然塾の広告塔として活用する。
- 以上の活動により安定的な収入の確保と拡大、増額を目指します。

## (2) 応募者の確保

本年度の塾生募集は、昨年 9 月から各教育委員会の後援を受け福岡県、佐賀県内の小中学校を中心に募集を行いました。(福岡県 680 校・佐賀県 257 校)

男子は定員には達しましたが、女子は昨年に続き、非常に少ない応募状況となっております。

そこで、今後の塾生募集については、下記の施策で応募者の確保を目指します。

- ・募集先を学校以外の公共施設(駅・図書館他)や支援企業、会員等にも広げる
- ・HP の有効的な利用を検討する(SNS との連動等)
- ・地域のマスメディア(TV・ラジオ等)を利用した広報活動を積極的に行う
- ・近隣自治体の学校へは次年度対象学年となる児童・生徒の人数分の募集パンフレットを用意学校へ直接持参する。
- ・近郊の学校や幼稚園等の農業活動のサポートに参加し、自然塾の活動内容を紹介すると共に塾生募集につなげる
- ・一般者向け「自然塾活動見学会」を開催する(5～6月/9～10 月)マスコミ、SNS にて周知します。

### 【参考】応募者数の推移

令和 5 年	49 名 (男子 30 名 女子 19 名)	+ 11 名
令和 6 年	40 名 (男子 22 名 女子 18 名)	▲ 9 名
令和 7 年	42 名 (男子 24 名 女子 18 名)	+ 2 名
令和 8 年	35 名 (男子 19 名 女子 16 名)	▲ 7 名

## (3) SNS の活用

### 「公式instagram」

昨年 10 月に立ち上げて塾生募集、ふるさと納税、活動の様子をアップしたことにより、塾活動、塾生募集への問い合わせが寄せられました。現代における新たな情報発信のツールとしてホームページとは違った形で運用を行ったことで自然塾活動をより身近に知っていただく一定の効果がありました。今年度も引き続き運用し各種活動や募集案内につなげていきます。

### 「公式LINE」

現在、卒塾生や保護者宛の通信手段として利用している郵送方式は、郵便料金の値上げにより経費の増加および紙ベースの情報のやり取りは登録住所の変更や回答まで時間がかかることから、回収率も低いものとなっております。卒塾生や保護者に「公式LINEアカウント」の登録を開始し、今後も同窓会および保護者への連絡ツールとしての機能を設け運用してまいります。

## (4) ボランティアの確保

本年度も塾生の安全確保の面からボランティアの支援が必要なものとなっております。

そこで今年も主に卒塾生主体(やまももの会)にボランティアを募集します。

ただし、塾運営の最低限の知識を持ってもらうため、塾活動開始前に説明会を兼ねた勉強会を開催し、安全対策、塾生に対する姿勢、農業知識等を周知させる計画です。

また、人数を多く必要とする活動(田植え、稲刈り等)時には理事企業の社員様を中心としたボランティアを引き続きお願いし、塾生の安全確保を図りたいと考えています。

〈第2号議案〉 令和8年度 事業計画および活動予算の件 ②

令和8年度 活動予算書(案)

令和8年1月1日から令和8年12月31日まで

(単位:千円)

科 目	金 額	収益・費用の主な内訳
I 経常収益		
1. 受取会費	5,569	〈正会員〉 法人 30,000円×177口 個人 3,000円×26口 〈賛助会員〉 法人 5,000円×32口 個人 1,500円×76口
2. 受取寄付金	30,190	株式会社リコー 10,000 三愛オプテック株式会社 10,000 コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 4,500 公益財団法人市村清新技術財団 2,500 サガテレビ 1,000 ふるさと納税、その他 2,190
3. 自販機支援金	250	新規支援金調達費
4. その他収益	43	受取利息 4 中山間地農機補助 他 39
経常収益計	36,052	
II 経常費用		
1. 事業費	24,559	
給料手当		職員給与 14,282
賃金		調理師、看護師の人材派遣費用 1,390
法定福利費		社会保険料、労働保険料 等 1,822
教材費		種・苗・堆肥 等の活動教材 419
燃料費		塾保有車ガソリン代・農機具燃料費 190
図書資料費		新聞購読料 等 38
保健衛生費		日用品、医薬品 等 190
食材費		活動時における食事の食材費用 916
旅費交通費		塾生送迎交通費、業務上の交通費 等 177
通信運搬費		電話料金、郵送費、宅配費 等 636
消耗品費		事務用消耗品、厨房関係消耗品 等 490
水道光熱費		電気、ガス料金 1,221
賃借料		車両、寝具リース、農地、機械借用料 等 1,759
印刷製本費		コピー代、塾生手帳、塾生募集パンフレット 等 905
修繕費		活動用機器の修繕費 60
保険料		看護師、ボランティア参加時の保険 等 20
教育研修費		外部研修参加費 44
2. 管理費	9,268	
給料手当		職員給与 3,208
法定福利費		社会保険料、労働保険料 等 175
旅費交通費		出張旅費、交通費 150
福利厚生費		単身職員借上寮、定期健康診断料 等 2,226
通信運搬費		電話、携帯電話、切手 等 72
消耗品費		事務用消耗品 等 45
水道光熱費		電気、ガス料金 311
賃借料		パソコンリース 等 480
会議費		会議時の飲食費用 40
渉外費		地域協力のための会費、慶弔費用 等 70
修繕費		設備機器の修繕費用 40
支払手数料		振込手数料・残高証明 等 174
租税公課		収入印紙代 7
保守費		警備保守、防火管理、浄化槽管理、空調管理 等 1,785
広報費		塾活動、塾生募集等に関する広報活動費 300
雑費		会計サポート、玉串料 等 185
当期正味財産増減額	2,225	
前期繰越正味財産額	20,697	
次期繰越正味財産額	22,922	

活動予算書(案)の主な増減要因

(単位：千円)

科 目	令和8年 予算(案)	令和7年 実績	差異	増減要因
I 経常収益				
1. 受取会費				
正会員				
法人会員	5,160	5,280	-120	
個人会員	96	78	18	
賛助会員				
法人会員	145	160	-15	
個人会員	168	114	54	
2. 受取寄付金				
受取寄付金	30,190	22,793	7,397	三菱オプリア(700万円増)、サガテレビ(100万新規)
3. 自販機支援金				
自販機支援金	250	-	250	新規支援金調達策
4. その他収益				
受取利息	4	35	-31	
雑収益	39	41	-2	
経常収益計	36,052	28,501	7,551	
II 経常費用				
1. 事業費				
(1) 人件費				
給料手当	14,282	11,663	2,619	スタッフ 1名増
賃金	1,390	1,236	154	
法定福利費	1,822	1,211	611	スタッフ 1名増
人件費計	17,494	14,110	3,384	
(2) その他経費				
教材費	419	283	136	
燃料費	190	180	10	
図書資料費	38	37	1	
保健衛生費	190	161	29	
食材費	916	831	85	
旅費交通費	177	173	4	
通信運搬費	636	639	-3	
消耗品費	490	428	62	
水道光熱費	1,221	1,190	31	
貸借料	1,759	1,467	292	塾車老朽化に伴う新規リース(7月交換)
印刷製本費	905	824	81	
修繕費	60	77	-17	
保険料	20	27	-7	
教育研修費	44	25	19	
その他経費計	7,065	6,342	723	
事業費計	24,559	20,452	4,107	
2. 管理費				
(1) 人件費				
給料手当	3,208	3,504	-296	
法定福利費	175	160	15	
人件費計	3,383	3,664	-281	
(2) その他経費				
旅費交通費	150	95	55	
福利厚生費	2,226	1,628	598	スタッフ 1名増に伴う借上げ寮費 他 増
通信運搬費	72	63	9	
消耗品費	45	44	1	
水道光熱費	311	298	13	
貸借料	480	415	65	
会議費	40	28	30	
渉外費	70	56	14	
修繕費	40	-	40	
支払手数料	174	159	15	
租税公課	7	1	3	
保守費	1,785	1,584	201	
広報費	300	-	300	塾活動、塾生募集等に関する広報活動費
雑費	185	231	-46	
その他経費計	5,885	4,602	1,298	
管理費計	9,268	8,266	1,017	
経常経費計	33,827	28,718	5,109	
当期正味財産増減額	2,225	-217	2,442	
前期繰越正味財産額	20,697	20,914	-217	
次期繰越正味財産額	22,922	20,697	2,225	

令和8年度  
理事 および 監事(新体制案)  
任期 令和8年3月16日から令和9年3月15日

理 事

	氏 名	備 考	
代表理事	泉 俊彦	株式会社 サガテレビ 前相談役	新任
副代表理事	松尾 哲吾	松尾建設株式会社 代表取締役社長	再任
副代表理事	吉村 隆男	リコージャパン株式会社 執行役員 九州地域担当	再任
理事	稲川 晶子	公益財団法人 コカ・コーラ教育・環境財団 事業部長	再任
理事	呉藤 徹	株式会社佐電工 代表取締役専務	再任
理事	阿部 哲嗣	株式会社リコー ESG戦略部 ESGセンター所長	再任
理事	志村 一郎	佐賀ガス株式会社 代表取締役社長	再任
理事	古川 浩	三愛オブリ株式会社 サステナビリティ推進部長	新任

監 事

	氏 名	備 考	
監事	野口 貴司	リコージャパン株式会社 人事コーポレート本部 コーポレートセンター 中国・九州ビジネスサポート部 副部長	再任

第4章 役員および職員

(種別及び定数)

第13条 この法人に次の役員を置く。

- (1) 理事 5人以上10人以内
- (2) 監事 1人以上2人以内

令和7年度  
理事 および 監事(現体制)

理 事

	氏 名	備 考
代表理事	柴田 暢雄	
副代表理事	松尾 哲吾	松尾建設株式会社 代表取締役社長
副代表理事	吉村 隆男	リコージャパン株式会社 執行役員 九州地域担当
理事	稲川 晶子	公益財団法人 コカ・コーラ教育・環境財団 事業部長
理事	呉藤 徹	株式会社佐電工 代表取締役専務
理事	阿部 哲嗣	株式会社リコー ESG戦略部 ESGセンター所長
理事	志村 一郎	佐賀ガス株式会社 代表取締役社長
理事	八田 聡子	三愛オプリー株式会社 サステナビリティ推進部 担当部長

監 事

	氏 名	備 考
監事	野口 貴司	リコージャパン株式会社 人事コーポレート本部 コーポレートセンター 中国・九州ビジネスサポート部 副部長

以上